

|     |                     |    |      |
|-----|---------------------|----|------|
| 所属  | 人文社会科学部             | 氏名 | 黄 孝春 |
| 課題名 | 県産りんごの輸出拡大の可能性とその課題 |    |      |

1. 概要

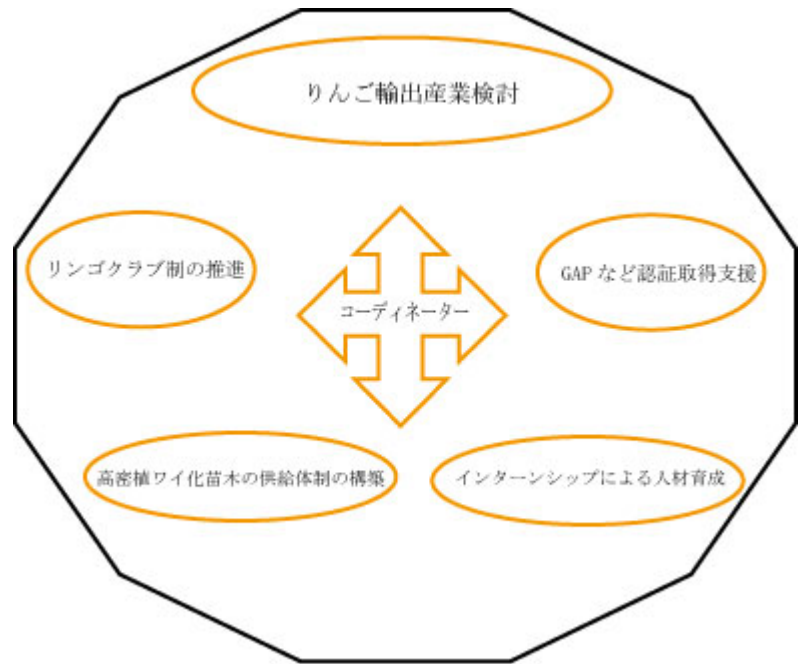
国際市場を視野に入れた販売戦略の立案と輸出拡大に向けた環境づくりがこのプロジェクトに課された課題で、それぞれの諸課題を把握・整理し、解決に向けた行動を起こす。

県産りんごは農産物輸出のチャンピオンとされるが、全生産量に占める輸出量の比率は数%にとどまっている。それは輸出産業化を実現しているニュージーランドの場合とは桁が違う。輸出産業化を実現している諸外国のりんご産業と比較研究し、県産りんごの輸出拡大の課題を明らかにしながら、政策提言を行うことが研究目的の一つである。

いま一つの研究目的は輸出拡大のためのインフラ整備である。りんごの更なる輸出拡大は耕作放棄地の解消や雇用の創出だけでなく、そのブランド化はほかの農産物の輸出拡大にも好影響をもたらし、地域の活性化につながることを期待される。本研究プロジェクトは輸出拡大に必要なインフラ整備、たとえば GLOBALG. A. P. 認証取得を積極的に支援する一方、生産者の高齢化と人手不足の問題から来る生産量の減少に歯止めをかける必要性から、高密度栽培の導入、とくにそのネックとなっている苗木の供給体制について関連企業との共同研究を進めることにしている。

また今後の課題として知的財産権（育成者権と商標権）を盾とする品種経営（クラブ制、ライセンス・ビジネス）の推進が必要と考えている。地域ブランドとともに、企業ブランドの強化によって輸出の拡大を図っていくことが求められている。

そして県内企業等からの輸出拡大や販路拡大を含めた諸課題に対して、学生の就業体験、経営マインドの醸成と解決策の提案などを通じて、消費動向に敏感な人材育成に資する活動を実施する。



(1) 県産りんご輸出拡大プロジェクト概念図

2. 画像の説明

(1) 県産りんご輸出拡大プロジェクト概念図